

「東京都女性活躍推進計画 平成29年度取組実績」

30 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		29年度取組実績
領域 I 働く場における女性の活躍		
④ 若者のキャリア教育の推進		
ア. 若者のキャリア教育の推進		
11	<p>☆女性のための活動 「夢を拓く 女子中高生のためのキャリア・サポート」知識や手本を得ることで、女兒がエンパワーされ、キャリア・ゴールを追求し、その潜在能力を発揮できるよう、その機会を提供する。</p>	<p>平成29年10月開催の研修会で「キャリアサポート」の実例をスクリーンなどで実際に説明、さらに実施するクラブの増加を促した。2018年7月30から8月2日に国際ソロプチミストアメリカ隔年大会が横浜で開催、約2,700名の国内外の参加者があり、「夢を拓く」プログラムによる高校生のキャリアサポートの実績を紹介した。また、隔年大会の会場に第10回リジョン・ユースフォーラムに参加した高校生を招き、全体会議に出席して国際ソロプチミストの取り組みを学んでもらい、別途「夢を拓く」ランチセッションとして短時間だが、キャリアを築くための意見、不安などについて活発な情報交換を行った。</p>
⑥ 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援		
ア. 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援		
15	<p>(1)女性のための顕彰活動により、女性のチャレンジを支援します。 「夢を生きる 女性のための教育・訓練賞」 対象: 扶養家族に対し主たる経済的責任を負っている女性で、生活レベルアップを目指して専門学校、大学課程の入学許可を得ており、かつ経済的援助が必要な女性</p> <p>☆(2)母子家庭の現状について講演会等を開催、支援します。</p>	<p>(1)「夢を生きる賞」は例年と同じく実施、さらに応募者の増加を目指した。賞の条件に外れていても支援が必要な女性を探し出して手を差し伸べることの重要性を強調した結果、クラブの意識に変化があったように思えるが応募者数は若干減少する結果となった (2)クラブ主導で実施</p>

30 国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		29年度取組実績
領域Ⅱ 女性も男性もいきいきと豊かに暮らせる東京の実現		
1 生活と仕事の調和（ライフ・ワーク・バランス）の実現		
③ 妊娠・出産・子育てに対する支援		
ア. 地域での子育て支援		
24	<p>子育てに対する支援 (1)養護施設・保育所・幼稚園に対し、童話の読み聞かせなどの訪問活動及び支援を実施します。 (2)子育て相談室開設への支援を行います。 ☆(3)「子供の貧困」をテーマとし講演会を開催、子ども食堂などを支援します。</p>	(1)、(2)クラブ主導で実施
	<p>児童虐待など被害児童の「子どものためのシェルター」の活動を支援します。</p>	クラブ主導で実施
	<p>女子自立援助ホーム等への訪問及び運営活動の支援を行います。</p>	クラブ主導で実施
2 地域における活動機会の拡大		
ア. 地域における男女平等参画の促進		
30	<p>(1)地域社会への貢献 行政、他団体とタイアップして女性の地域社会への参加を促進します。 (2)女性の社会活動の実践 各クラブ単位での講演会や催し物を企画・開催するなど、女性の社会活動を実践していきます。 (3)提唱活動 内閣府男女共同参画推進連携会議や国際ソロプチミストアメリカ連盟会議に参加し、提唱活動を行います。</p>	<p>(1)(2)クラブ主導で実施 (3)内閣府男女共同参画推進連携会議には北リジョンから議員が出て、新しい情報があるたびに月1回発送のリジョンメールで発信した。東京都「女性も男性も輝くTOKYO会議」に委員が参加して「夢を拓く」プログラムの内容を参画する団体に紹介し、反響を得た。2018年7月30から8月2日に国際ソロプチミストアメリカ隔年大会が横浜で開催、約2,700名の国内外の参加者があり、「夢を拓く」プログラムによる高校生のキャリアサポートの実績を紹介した。</p>
3 男女平等参画を推進する社会づくり		
③ 教育・学習の充実		
イ. 多様な学習機会の提供		
40	<p>(1)各クラブより選出された高校生約100名によるユース・フォーラムを隔年で開催し、これからの社会を担う若い女性のリーダーシップの育成を図ります。2017年のフォーラムのテーマは日本における男女格差についてを取り上げます。 (2)高校生に対しての奨学金制度を実施します。</p>	<p>(1)2017年10月1日に第10回日本東リジョン・ユース・フォーラムを国際連合大学ウ・タント国際会議場で開催する予定。『「男女格差111位の日本」—あなたはどうか？ どうしたい？』というテーマのもと、ジャーナリスト・東京工業大学特命教授 池上彰先生が進行役で、92名の男女高校生が参加して自分たちなりの解決を模索した。活発な討議は高校生だけでなくオブザーバーの会員からも大きな反響を得た。東京都「女性も男性も輝くTOKYO会議」太鼓判認定事業です。 (2)クラブ主導で実施</p>
⑤ 生涯を通じた男女の健康支援		
イ. 各年代に応じた健康支援及び性教育		
51	<p>森林療法、子供の食育、女性特有のがんの早期発見等の提唱活動を行います。</p>	クラブ主導で実施